



第56回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2023年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定である。

2022年1月1日のWAの競技規則TR5の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

※競技用靴・靴底厚さ表

種目	靴底最大の厚さ	要件備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm	全投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を 含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、障害物競走 を含む)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内でおこなう競歩競技の靴底の最大の厚さは道路競技と同じとする。
道路競技 (競走、競歩)	40mm	

※本大会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する

2 練習について

(1) 練習の時間帯は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
9月14日(木)	13:00~17:00	13:00~17:00
15日(金)	7:30~8:40	7:30~17:30
16日(土)	7:30~8:50	7:30~18:00
17日(日)	7:30~8:50	7:30~15:00

※本競技場では、競技会運営の準備も並行しておこなうので、安全に十分注意すること

(2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。また、用具については、補助競技場を含め競技場備え付けの物を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。

(3) 本競技場のフィールド内芝生は、全面立入禁止とする。補助競技場のフィールド内ではスパイクシューズ・ミニハードル・ラダー・シートの使用を禁止する。

(4) 投てき練習(メディスンボール練習等も含む)は、公式練習以外、競技場内外を問わず一切禁止する。ただし、投てき専用サークルでのフォーム練習等は認める。(投てき物の使用は一切認めない)

また、補助競技場横の投てき練習場(駐車場)の指定された場所において、下記の時間帯に限りメディスンボール(ロープ付きを除く)を用いてのウォーミングアップを認める。

9月14日(木) 13:00 ~ 17:00 9月15日(金) 7:30 ~ 17:30

9月16日(土) 7:30 ~ 17:30 9月17日(日) 7:30 ~ 13:00

(5) 練習会場での練習は、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

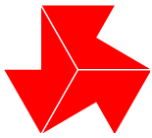
(6) 練習会場の詳細は、別添「練習会場予定表」を確認すること。

3 招集について

(1) 招集所は、第4ゲート外側に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内・競技エリア内に持ち込まないこと。



第56回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

(4) 招集の手順

- ①競技者は、招集開始時刻までに招集所で待機し、競技者系の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技で使用使用するシューズの確認を受ける。
- ②トラック種目は、競技者系の点呼を受け、同時に腰ナンバーを受け取り、両腰のやや後方につけること。男子5000m・3000mSC・5000mWと、女子3000m・5000mWIは、別ビブスも受け取ること。
- ③代理人による招集の点呼は認めない。ただし、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに、本人が所定の「多種目同時出場届」(用紙は招集所に準備)を競技者係へ提出し、併せて招集を受けることができない種目の点呼(アスリートビブス、競技で使用使用するシューズの確認)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) リレー種目について

- ①「オーダー用紙」は、各ラウンド(予選・準決勝・決勝)ともに、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)へ提出すること。プログラム巻末の所定の用紙に、必要事項を記入のうえ提出すること。「オーダー用紙」の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。
- ②出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。
- ③4×400mRの第2・3走者は、次走者の待機順を明確にするため、左腰に腰ナンバーをつける。
- ④ユニフォームは、同一校と判断できるものを原則とする。

(6) 招集所から競技場所への移動は、競技者系の指示に従うこと。

(7) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

- ①トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選・投てき競技の決勝の試技順は、すべてプログラム記載左側に示された番号順とする。なお、準決勝以降の組み合わせは、すべて番組編成員がおこない、場内アナウンスするとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部のWEBページ」に掲載する。
- ②トラック競技における次のラウンドへの進出者について
 - (ア) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
 - ・レーンに余裕がある場合：同タイム(1/1000秒単位)の競技者の出場を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合：本人または代理人により抽選する。
 - (イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、(+ α)での進出者数を減らす。
 - (ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。
 - (エ) 800mについては中位の第7レーンに2名の競技者を配置する。第7レーンの次には第2レーンに2人を配置する。

(2) 競技について

- ①競技結果については、場内アナウンス発表するとともに、「奈良県高体連 陸上競技専門部WEBページ」に掲載する。なお、競技結果が場内アナウンスされた時点を正式発表とする。
- ②当該種目出場の競技者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- ③スパイクのピンの本数は、11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ④アスリートビブスは、配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。
- ⑤不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。
- ⑥男女5000mWはスタート後 男子30分・女子35分で競技終了とする。
- ⑦男子5000m・女子3000m・男女5000mWIは、危険防止のためグループスタートでおこなう。
- ⑧トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ⑨4×100mRのマーカ―は、主催者が準備し、競技前に招集所で競技者係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマーカ―を前走者が取り除くこと。
- ⑩フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席からおこなうこと。
- ⑪競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器を持ち込むことはできない。



第56回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。

フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。

⑫競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通り。

男子 走高跳	1年	(練習)	1m70	1m86	1m75-80-83-86	以後 3cm ずつ
	2年	(練習)	1m75	1m91	1m80-85-88-91	以後 3cm ずつ
女子 走高跳	1年	(練習)	1m47	1m56	1m50-53-56-59	以後 3cm ずつ
	2年	(練習)	1m50	1m59	1m53-56-59-62	以後 3cm ずつ
男子 棒高跳	1年	(練習)	3m00	4m00	3m20-40-60-70	以後10cm ずつ
	2年	(練習)	3m40	4m30	3m60-80-4m00-10	以後10cm ずつ
女子 棒高跳	1年	(練習)	2m10	2m80	2m20-30-40-50	以後10cm ずつ
	2年	(練習)	2m50	3m00	2m60-70-80-90	以後10cm ずつ

※同記録による1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(4) 男女走幅跳は、1年はAピット(スタンド側)、2年はBピット(トラック側)でおこなう。

(5) 三段跳の踏切板は、男子：12m00、女子：1年は9m00、2年は10m00に設置する。

5 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。競技終了後(決勝)、競技場所または南用器具庫で返却する。

検査時刻は、競技開始時刻の80分前から60分前までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)でおこなう。

6 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督(当該校顧問同伴)から、所定の手続きをとるものとする。

7 表彰について

(1) 各種目3位(リレーは6位)までの入賞者は表彰をおこなうので、結果発表のアナウンス後直ちに、受賞者席(メインスタンド下中央ロビー)に集合すること。

(2) 表彰式では以下の表彰を行うので、当該校(者)は必ず参加すること。

①総合3位までに入賞した学校(男子総合・女子総合・学年別男子総合・学年別女子総合)

②男女各学年の優秀競技者

③男女各総合優勝校の顧問・監督

8 一般的注意事項

(1) 競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。

(2) テント、シート、横断幕、のぼりについて

①事前に各府県で割り当てられた場所を使用し、指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。

②競技場内外の場所取りは、各府県で割り当てられた場所以外は一切禁止する。

③割り当てられた場所でテント、シートは使用しても良いが、飛ばされないように留意すること。

④競技場内外に設営しているテント・シート等は毎日撤去し、持ち帰るか小さくまとめてその場所に置いて帰ってもよい。(破損、盗難等の責任は負わない)

⑤横断幕の設置は各府県で割り当てられた場所に設置すること。また、大会期間中設置したままでもよい。

⑥のぼりの設置は各府県で割り当てられた場所の最後方に設置すること。

(3) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(4) 応援はスタンドで行い、立入り禁止区域には入らないこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。

(5) 更衣室の使用は、更衣のみとし、使用後は速やかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。

(6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。

(7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。

(8) 補助競技場内での日傘の使用は安全確保の観点から禁止する。

(9) 貴重品、荷物等は各自・各校で管理し、盗難等に十分注意すること。



第56回 近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

- (10) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示に従うこと。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (11) 個人情報の取り扱いに関して
- ①本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ②参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。